

第4回桶川市振興計画審議会の開催結果

〈実施結果概要〉

【開催日】令和4年4月16日（土）

午前9時30分から午前11時15分まで

【開催場所】本庁舎 会議室402

【出席委員】11名 ※1名欠席

【役職】会長：大沢委員（学識経験）

副会長：水村委員（教育委員会委員）

【傍聴者】1名

【審議等】

- ・ワールドカフェ、高校生・大学生ワークショップの実施結果を説明し、基本理念案について説明。
- ・第5回審議会では、基本理念の事務局案を再整理した上で、将来像や施策の大綱について議論する。

別記様式（第3条関係）

会議録（1）〈要約〉

会議の名称	第4回桶川市振興計画審議会
開催日時	令和4年4月16日（土） （開会）午前9時30分、（閉会）午前11時15分
開催場所	桶川市役所 会議室402
主宰者の氏名	企画財政部企画調整課
議長の氏名	大沢会長
出席者氏名 （委員）	水村副会長、岩崎委員、新島委員、岡安委員、秋山委員、荒井委員、 中村委員、澁谷委員、吉田委員、永井委員（WEB）
欠席者氏名 （委員）	井上委員
説明員氏名	企画財政部企画調整課、ランドブレイン株式会社
事務局職員 職名及び氏名	企画財政部 川邊部長、野口副部長 企画調整課 向井課長、篠原係長、野原主任
会議事項	議 題
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 概要説明 <ol style="list-style-type: none"> （1）第3回審議会の結果について （2）市民参加の結果について 3. 議事 <ol style="list-style-type: none"> （1）基本理念について 4. 事務連絡等
	決定事項等
	<ul style="list-style-type: none"> ・第5回審議会では、基本理念の事務局案を再整理した上で、将来像や施策の大綱について議論する。
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・第3回総合振興計画審議会会議録・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料1 ・ワールドカフェ実施結果概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料2 ① ・高校生・大学生ワークショップ実施結果概要・・・・・・・・・・資料2 ② ・総合振興計画の体系・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料3 ・基本理念の整理・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料4 ・桶川市第五次総合振興計画基本構想抜粋・・・・・・・・・・参考資料1 ・桶川市振興計画審議会委員名簿・・・・・・・・・・参考資料2

議事の経過	
発言者	発言内容
概要説明 (1) 第3回審議会の結果について	
事務局	資料1に基づき、事務局より説明。
会長	事務局からの説明について、何かご質問はありますか。
委員	なし
概要説明 (2) 市民参加の結果について	
事務局	資料2①、資料2②に基づき、事務局より説明。
会長	事務局からの説明について、何かご質問はありますか。
委員	高校生・大学生ワークショップの参加者の募集方法とその理由を教えてください。
事務局	中学生を対象にアンケート調査を既に実施しているため、ワークショップの対象は、高校生と大学生としました。 新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を踏まえ、市内高校や包括連携協定を締結している大学にお声がけし、学校を通して参加をお願いし、参加者の安全に配慮しながら実施いたしました。
議事(1) 基本理念について	
事務局	資料3、資料4、参考資料1に基づき、事務局より説明。
会長	本日は、資料4のp2にお示しした基本理念の方向性を議論したいと思っております。具体的な施策については、基本理念を整理後、次回以降に議論したいと思っております。基本理念がしっかりしていないと個別の施策を検討しても軸が揺らいでしまいます。本日は、基本理念についてしっかりと皆様と意見交換し、方向性を決定していければと思います。
委員	資料4の各基本理念に記載されているキーワードは、現行の五次総にもあったのでしょうか。それとも今回、整理したのでしょうか。
事務局	今回、基本理念の事務局案を整理する際に、要素をキーワードとしてお示ししたものでございます。
委員	各基本理念をキーワードで要約していることになりましたが、五次総の基本理念4は産業振興の意味合いが強かったと認識しています。事務局案では「交流・連携」というキーワードになっています。今までの基本理念と若干違う印象と受けます。【意見】
会長	キーワードの妥当性について、再度検討をお願いします。
委員	「美しい人間関係」が大切だと考えています。仕事でも言えることですが、誠実であることが人間関係の基本です。約束を守ることなど基本的なところから信頼関係が生まれます。人と人の信頼関係の延長線上に、尊厳や人権があるのだと思います。【意見】

会長	基本理念1に関するご意見ですが、思いやりを持って共に支え合うことは、信頼関係の上に成り立つことだと思います。さらに掘り下げた議論は、施策の中で整理できればと思います。
委員	基本理念2の文脈について、現行では、はじめに福祉の視点があり、防災・防犯の視点をその次に記述しています。新しい案では、逆になっていますが、表現を変えたことで、優先順位が変わったと受け止められます。防災・減災の視点は重要なことと思いますが、市民にとっては日常的に安心・安全に住み続けられること、福祉的な視点が第一だと思います。なぜ、新しい案で表現を入れ替えたのでしょうか。福祉的な視点を第1にするべきだと思います。【意見】
事務局	記述する事柄の順序で、優先順位を示すといった意図はなく、文章の流れでこういった案としております。なお、昨今、激甚化、頻発化する大規模自然災害を踏まえ、予防防災の観点から減災を追記しています。
会長	文脈から優先順位の議論をすると色々な視点が出てきてしまいます。基本理念の文脈には、記述の順序による優先順位はないものとして、検討した方が良くと思います。
委員	文脈の順序に優先順位が関係ないとするなら、なぜ表現を入れ替えたのでしょうか。
事務局	文章の読みやすさなどを考慮し、本案のとおりとしております。また、「子どもから高齢者まで、誰もが安心して暮らし続けることができる」という部分に福祉の視点も含まれていると考えています。
会長	本日、議論いただきたいのは、理念の考え方になります。どういうことを目指したいのかという表現の部分が重要になります。
副会長	基本理念4と5に「主体」という言葉がありますが、「様々な主体」という言葉はあまり使わないと思います。【意見】
事務局	行政では、違和感がなく本案としてしておりますが、分かりやすい表現に改めたいと思います。
会長	「主体」という表現は、過去、国が策定する計画においても使われていたように記憶しています。 ここでの表現は「まちづくりの担い手」という視点もあると思いますので、再度、検討いただければと思います。
事務局	表現を再検討いたします。
会長	資料4のp1「基本理念の整理について」の「その他の視点」には、「デジタル化や新しい生活様式」などのキーワードがあります。これらを変化として捉え、基本理念に反映することも必要ではないかと感じます。 例えば、将来EV車が一定程度、普及するとガソリンスタンドは電気スタンドに変わると思います。また、高齢者の方々の免許返納が進むと、バスなど公共交通機関の利用が増えると思いますが、その一方で、自家用車の自動運転技術が高齢者の運転をサポートするかもしれません。このような社会環境の変化に応じたまちの在り方を基本理念に入れても良いと思います。 新型コロナウイルス感染症が、生活スタイルを大きく変えました。次期総合振興計画の10年で社会が大きく変わると思います。このような変革期に計画を策定することから、変化を力に変えるメッセージを入れてはどうでしょうか。【意見】

委員	<p>基本理念4と5が似通っているように思います。基本理念4を「活力に満ち人が集うまち」から「人が集い活力に満ちたまち」に表現を変えていますが、枠組みを作ることで人が集まってくるニュアンスで書かれていたものを、人が集まることで活力が生まれるとしたため、基本理念5と似てきてしまったのだと思います。</p> <p>基本理念4については、デジタルインフラ等のワードを入れ、それを整備することで人が集まるというようなニュアンスを入れた方が分かりやすくなるかと思います。【意見】</p>
委員	<p>資料4のp1「その他の視点」ですが、AI化が進まないともちづくりが進まないと思います。また、「SDGs」や「Society5.0」にも取り組んでいくことが大切です。それらの視点を基本理念として6番目に入れても良いと思います。【意見】</p>
副会長	<p>桶川市では、令和3年度に各小中学校の児童生徒にタブレットPCを配布し、授業で活用しています。近い将来、デジタル機器の取扱いに慣れた子ども達が大人になり、社会で活躍します。桶川の将来像を考えた時にデジタル化は重要なキーワードになってくると思います。【意見】</p> <p>また、産業界のデジタル化は、新型コロナウイルスの感染拡大以前から主軸でした。現在、自動車業界では、2030年を目途に新車をEV車に移行していく流れにあります。行政も、こういった時代の変化に適応していくことが求められると思います。【意見】</p>
委員	<p>時代の変化によって、環境に対する意識やデジタル化が進み、働き方や消費行動が大きく変わってきています。時代の変化を力に変えていくような「変化」を要素にいた基本理念を追加してはどうでしょうか。また、基本理念4と5は似ているので一つに統合できると思います。【意見】</p>
会長	<p>基本理念4と5を統合する。また、新たに「時代の変化を力に変えていく」という主旨の理念を新たに追加するというご意見をいただきましたが、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>異議なし</p>
会長	<p>それでは、次回審議会までに事務局で改めて案を作成いただければと思います。他に基本理念について、ご意見はありますか。</p>
副会長	<p>「SDGs」という視点では、再生可能エネルギーをまちづくりにどう生かすのかも重要です。桶川市には、工業団地の調整池を利用した民間企業の水上式メガソーラー発電施設があります。こういった事業に先行して取り組むことを示し、積極的に進め、市域の産業構造を変えていくことも必要であると思います。【意見】</p>
会長	<p>資料4のp1「活力に満ち人が集うまち」の欄に「企業誘致」がありますが、圏央道沿線では、製造から物流に需要が変化しているエリアがあります。ICが2か所ある桶川市にとって、こういった変化に地域産業も含め、どのように対応していくのが大切です。</p>
委員	<p>事務局案の基本理念4は、「人からモノへ」という文章の作りになっています。一方で、基本理念2は、「モノからヒトへ」という文章構成になっています。いずれかに揃えるなど、文章構成の考え方を意識して検討を進めた方が良いと思います。【意見】</p>

委員	「誰も取り残さない」という考え方が大切です。デジタルに弱い高齢者への配慮も必要だと思います。例えば、マイナポイント事業ですが、事業は知っているが、やり方が良く分からない方、ワクチン接種についてもネットからの申込方法が分からなくて何時間もかかる方が大勢います。高齢者がいきなり若者と同じスキルになるのは難しいです。高齢者も気軽にデジタルを使える仕組みや、支援があると良いと思います。【意見】
会長	行政の「デジタル化」について、デジタル格差の課題があります。若い世代でもLINEは使えても、メールが不得手という学生がいます。デジタル化は目的ではなく手段です。デジタルを導入する際には、デジタル弱者への配慮も重要になります。
委員	資料4のp2、基本理念1について、はじめに、多様性を認め合う社会をつくる、思いやりを持って共に支え合うといった「共生」を記述した上で、さらに、最後に「共生のまちづくり」として結んでいるため、意味合いが重複しています。例えば、「平和なまちづくり」など、一つ上の概念で結びを表現しても良いと思います。【意見】
委員	資料4のp2、基本理念3について、脱炭素を明記していますが、桶川市は、昨年「ゼロカーボンシティ」を宣言していますので、この言葉をいれても良いと思います。【意見】
事務局	本市は、昨年10月30日に、「ゼロカーボンシティ宣言」をしています。この宣言の意図は「脱炭素」に含めて表現させていただいております。今回の変更案は、市民の方が分かりやすいよう、極力カタカナ表記を避けています。
会長	基本理念の中では、カタカナを避けているということもあるので、ゼロカーボンシティなどの言葉は施策の中に入れていけば良いと思います。
委員	資料4のp2、基本理念3について、「里地・里山」の語句を削っていますが、脱炭素や循環型の社会形成において「里山」の存在は重要です。この語句は、残した方が良いと思います。【意見】
会長	「里山」は、脱炭素の象徴のようなものですので、残しておいた方が良いと思います。
委員	本市に残る里山として、例えば「べにばなふるさと館」の裏山がそれにあたると思います。
委員	資料4のp2、基本理念3は、「人と自然が共生するまち」となっています。自然については、高校生・大学生ワークショップにおいても桶川市の特徴として挙げられていますので、そういった意味で「里山」という語句は残すべきかと思います。【意見】
会長	「里山」は、基本理念に残すことを前提に検討をお願いします。
事務局	承知しました。
副会長	先ほども議論がありましたが、時代の変化を基本理念に示した方が良いと思います。ウクライナでの紛争のように、いつ突然、平和が過去のものになるかわからない時代です。【意見】
会長	危機に備えるリスクマネジメントの視点が重要です。防災・減災、変革の時代にあって、危機を察知する能力と適応力が求められます。

委員	マンションなどの共同住宅が増加しています。基本理念1は、一人ひとりを大切にすることが謳われていますが、最近では隣近所の人達の顔が分からない、近所付き合いや、助け合いができていない状況も見受けられます。このような状況下において、こういった施策を展開するのか検討する必要があります。【意見】
会長	災害の際に、隣近所で支え合えると安心できますが、近年ではコミュニティが希薄になってきており、何か起きたときに支え合うことができなくなっています。地域コミュニティの改善が重要になってくると思います。
事務局	地域コミュニティの改善など地域力の低下については、主に基本理念1に関係する部分ですが、詳細については、施策に織込んでいきたいと考えております。
委員	明らかに支援が必要な方が、逆に支援を拒むことがあります。そうした方がどうすれば支援を受け入れてくれるのかが悩みになっています。コミュニティを拒絶される方もいらっしゃいます。人との関わりをしたくない、自治会に入りたくない、広報はコンビニで手に入りますという方もいらっしゃいます。そうした方々に対し、災害など、いざという時にどのように支援すれば良いのか、考えていく必要があります。【意見】
会長	そういったことについて、どのように対応していくのか施策の中で議論できればと思います。
副会長	基本理念の中の「教育」が見えづらくなっていますが、どのように考えていますか。
事務局	変更案では「教育」として直接的な表現はしておりませんが、施策の大綱の中で、基本理念を踏まえ教育について、記述することを考えております。
副会長	資料4のp2、基本理念4の交流・連携について、産業振興や教育という表現が現行では示されています。案では「教育機関」という言葉が使われており、学校のことかと考えています。教育という視点は残しても良いかと思います。【意見】
会長	<p>現行の基本理念4は、主体または担い手への教育であり、変更案で示している教育機関は、教育をベースにして人が集まり、新たな人材ができ、起業して、桶川市で新しいプロジェクトができるという話にみえます。人々が成長し、学び、活躍していくための教育は、別の意味として検討する必要があると思います。主体は書いてあるけれども、理念的な教育がないことを懸念されているのだと思います。</p> <p>海外では、40歳や60歳で大学に入るなど学び直しが多い一方、日本はそうした割合が低いと言われていました。ワールドカフェにも生涯学習等の意見が出ていました。生涯の学びを通じて、豊かな人生を歩んでいくという趣旨も入れておくと良いと思います。</p>
副会長	子どもは、日本の未来を築く国の宝です。学びという教育をもう少し、表現してもよいと思います。【意見】
会長	教育は人づくりであり、基本理念1「一人ひとりを大切にするまち」に関係します。先日、99歳で大学を卒業された方の報道がありましたが、子どもから大人まで、生涯の学びは、重要であると思います。
事務局	学ぶという視点で、再度検討したいと思います。

会長	他にご意見がないようであれば、事務局の方で、本日の意見を踏まえ、改めて基本理念を整理いただければと思います。次回は、意見を反映した基本理念を踏まえ、施策の大綱などについて、議論できればと思います。
事務局	説明文の構成や語句について、一定のルールに則り再度整理いたします。基本理念について5つお示ししておりましたが、今回の審議を踏まえ基本理念1～3は変えず、基本理念4～5を一つにし「みんなで作る活気あるまち」とし、新たに基本理念5として「時代の変化を力にするまち」を設けることを基本に再度、整理したいと思いますが、よろしいでしょうか。
会長	事務局からの確認について、何かご意見はありますか。
委員	異議なし
会長	事務連絡等について、事務局から何かありますか。
事務局	次回審議会は、5月14日（土）9：30からとなりますので、ご出席の程、よろしく願いいたします。本日はありがとうございました。
会長	以上をもちまして、第4回桶川市振興計画審議会を閉会いたします。慎重なご審議ありがとうございました。